

# ニューヨークで活躍するプロダンサー

## 伊賀市桐ヶ丘出身の三木奈奈さん



子どもの頃から「いつか舞台上で踊りたい」と思っていた女性がその夢をかなえ、ニューヨークでプロダンサーとして活躍している。

その女性は伊賀市桐ヶ丘出身の三木奈奈さん(30)。幼少の頃から家族の影響で宝塚歌劇団の舞台を見ること

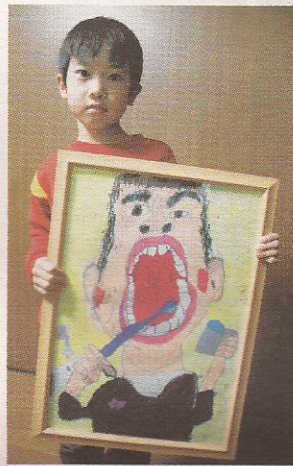
が多かった三木さんは同劇団に憧れ、10歳の時にバレエを始めた。青山中学時代はクラブ活動も必修だったため、学校との両立が大変だったというが、名張高校を卒業するまで、名張市内のバレエ教室に通っていた。

高校卒業後は、「舞踊についてもっと追求し、将来は海外で活動したい」と大阪芸術大学に進学。自宅から大学まで電車とバスで片道2時間半かけ、4年間通った。授業でモダンダンスや振り付けも習ってダンスの幅を広げるとともに、府内にあるバレエ教室にも

所属。学内はもちろん学外公演もあり舞台数も多く忙しかったそう

卒業後は大阪でバレエやモダンダンスのダンサーとして活躍する傍ら、バレエ教室講師や振付師

## 丸田くんら3人入賞 歯の図画ポスターコン



「2006年度歯の健康に関する図画ポスターコンクール」で、名張市立桔梗が丘南小2年の丸田剛輝君、写真右に

受賞者らの作品は今年6月に行われた伊賀地区の同コンクールで、小学生低学年の部、同高学年の部、中学生の部の各部門で最優秀作品に選ばれたもので、県立依那古小6年の中森香奈さんと同緑ヶ丘中2年の菊地涼那さんがそれぞれ佳作を受賞した。

受賞者らの作品は今年6月に行われた伊賀地区の同コンクールで、小学生低学年の部、同高学年の部、中学生の部の各部門で最優秀作品に選ばれたもので、県立依那古小6年の中森香奈さんと同緑ヶ丘中2年の菊地涼那さんがそれぞれ佳作を受賞した。

として子どもたちを指導。その合間を縫って渡米し、レッスンなどを受けていた。

その体験から「米国環境が合っている」と感じ渡米を決意、ポ

スト・モダンダンスの第一人者が主宰するダンススクールの審査を3年前に受験。合格を機に、活動の拠点を米国に移した。

現在はニューヨーク

を中心に活動する2つのプロダンスカンパニーに在籍。日本人は三木さんだけという環境の中、「情熱的で繊細」なパフォーマンスに磨きをかけている。

日本で披露したい今年9月には、ニューヨークタイムズ紙などで好評を博した「A go! a II」にもメインダンサーとして出演した。今後の目標は「ダンサーとしてもっと成長し、作品づくりに積極的に取り組む、いつかヨーロッパや日本で披露できた」と話した。

## 主訴からみた女性内科

### 胸痛・胸内苦悶について

ドクトル武田のお元気ですか?

第151回

院長 武田 守弘

①狭心症および心筋梗塞に伴う胸痛  
これらの疾患による痛みは強烈で特殊な症状を伴う胸部不調があり、坂道を登ったり、食直後の歩行により惹起され、狭心症の性質は痛

度で急死します。日常診察においては症候時の心電図変化が最も確実な診断法ですが、実際のところ容易ではありません。

若年・閉経前後には原因の詳細は不明でありながら、非典型的症候に加え狭心症類似の胸部症状の訴えが多いの

静での発作では時に、アルコール・精神的興奮・特定の食事と関連することが多いです。持続は数分から長くても10分以内です。もちろん長時間の発作はより重症ですが、その場合程度も一般には強いもの

高齢女性ではより高度の冠動脈病変に起因する狭心症の頻度が高いとされています。さらに、貧血・熱性疾患・甲状腺機能亢進では狭心症は頻回かつ不定となりやすく、また若年・閉経前後には原因の詳細は不明でありながら、非典型的症候に加え狭心症類似の胸部

を人コッ

あ子メ

れいた味はえ登いム ps.